

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月3日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機クレーン装置からの作動流体の滴下について】 3号機燃料取出作業において、使用済燃料を装填した輸送容器をオペレーティングフロアから地上階に吊り降ろしていたところ、作動流体の「漏えい警報」が発生し、監視用ITVカメラで作動流体の滴下を協力企業作業員が確認した。輸送容器については、地上階に吊り降ろし済み。 調査の結果、クレーン主巻付近の作動流体ホース継手のネジ込み部に漏えいが確認されシールテープ性能の低下によるものと推定。 当該部のシールテープを巻き直し、運転確認を行い、作動流体の滴下なしを確認。</p>	GⅢ	7月29日